

北方町政策審議会 視察研修 会議要旨

グループ名	全グループ	出席委員数	15名
日時	平成23年7月30日（土）10時00分～11時45分		
場所	愛知県犬山市 犬山市市民活動支援センター		
【協議事項】			
講師 犬山市市民活動センターの会 専務理事 川島典之 氏			
1. 講演内容			
○（特）犬山しみんていの会の活動について			
・川島氏は自身の長年に渡るボランティア活動の経験から、単独の組織で行う市民活動には限界があると感じ、様々な市民活動の中間支援ができる組織として、犬山市市民活動支援センター（通称 しみんてい）の設立に尽力された。 ・市民活動を支援する施設（しみんてい）は、24時間利用可能で、会議や催事の開催や、コピー機や拡大機などの作業、一般へのPR、他団体との交流を図ることができ、常駐するコーディネーターをとおしての情報収集、研修活動、相談、アドバイスを受けることができる。			
○まちの活性化にむけて ぜひ取り組んで頂きたいこと			
・自分たちで出来ることは、自分たちでやるという考え方が大切。自分たちで出来ないときは地域でやる、地域でできないことは行政がやる。行政は、その土壌となるようなコミュニティ活動を支援し、市民活動を活性化させるような仕組み創りを進めるべきである。 ・現行のNPO活動、ボランティア活動は中心となるメンバーがいなくなると衰退していくことが多い。「地域」に根付いたコミュニティ活動として継続させていくような方策が必要である。 ・既存の自治会組織、地縁団体等は順番に役員になったり、特に議題がないのに定期的な会合を開くだけであるとか、既に形骸化している場合が多い。旧来のこのような組織から真のコミュニティ組織への脱却が必要である。 ・行政は、住民に対して公平であろうとするため、すべての施策を一律で行わざるを得ない。自分達の身近な課題を解決するためには、まずは自分達が行動するという意識をもつことが大切である。今後は、例えば小学校区単位で地域としての裁量権を認めて予算措置し、自分たちの地域は自分たちで住みやすい環境造りをするというような取り組みができないか検討すべきである。 ・単に問題や課題を「提案」するだけではなく、具体的に「実行」することが大切。ぜひ2年間の政策審議会委員の任期中に、自分達の「提案」を具体化することができるような組織ができるように頑張っていたきたい。			

2. 各グループにおける意見・感想

○グループ1 平成23年9月24日（土）

- ・ 1回目の全体会議前にすでに事務局で視察場所・日程が決まっているのはいかなものか？（政策審議会が事務局の引かれたレールに乗っている気がする）（夏休みに入っていると子どもがいる委員は出席しづらいのでは？）
- ・ 時期が早いのでは、もう少し会議を重ね、委員の意向も組み入れ決めるべきではないか？
- ・ 毎年同じ視察先でいいのか？委員が変わっているとはいえ、視察場所や内容を検討すべき。
- ・ 犬山のベース・土壌があつての活動なので、北方においては、基盤が違いすぎて、即応用することは難しい。
- ・ 先進地すぎて聞くだけの研修になってしまった。
- ・ 視察に行くのではなく、講義が中心であれば講師（NPO等）に来てもらったほうが参加しやすいのではないか？（参加者が半数しかいなかった）
- ・ 行政の参加、勉強も大切。行政に考えてもらいたい内容もあった。
- ・ 行政も住民も自分の町をもっと知ることが大切である。
- ・ 研修の目的について、委員に何を事務局は求めているのか不明。

○グループ2 平成23年9月24日（土）

- ・ 講師の方が初老で意外だった。
- ・ 自助・共助・公助の考え方がよい。
- ・ 子ども大学の継続性がすばらしい。
- ・ 講座が発展するよう努めていることがすばらしい。
- ・ コーディネーターの育成がすばらしい。
- ・ 「しみんてい」の事務所がまちの中心にあり活気があるよう感じた。
- ・ ボランティアの基盤ができている。（代表の方の）
- ・ 子ども大学を立ち上げるにはボランティアの育成が大事かと感じた。
- ・ 北方町で推進するものは何かと思った。
- ・ 他県ナンバーの車など観光客がきていて活気がある。
- ・ 北方町の商店街は活気がないように感じるが、活気づかせることはできないか。
- ・ 犬山の見学は参考になった。

○グループ3 平成23年9月10日（土）

- ・ しみんていで視察を踏まえて啓文社でも参考になったことを始めようと考えている。
- ・ 非常にいい活動をしている。自分の所属する団体でも視察に行つてはどうかという意見が出ている。
- ・ 犬山の方法が北方で根付いてできるかどうかは疑問である。

- ・活動拠点も城下町の街並みにマッチしている。
- ・活動に精通している方が所属していることはいいことである。
- ・北方にも精通した人が必要である。NPOを立ち上げるためのバックアップ体制が必要である。
- ・ボランティアをつづける人、育成する人が必要である。
- ・夢まちクラブがボランティア活動を始めた。啓文社でカフェを始めて、1杯100円で提供している。
- ・夢まちクラブの活動に参加しているが、自分がボランティア活動を行っているかといわれると不明である。
- ・ボランティアに興味を持っていたかなければならない。どうすれば興味を持ってもらえるか考えなければいけない。

○ グループ4 平成23年9月23日（金）

- ・研修欠席者に対して内容の報告。
- ・意見等は特になし。

○グループ5 平成23年8月25日（木）

- ・研修欠席者に対して内容の報告。
- ・意見等は特になし。